

多摩大学経営情報学部
【教職課程ハンドブック】
2020 年度入学生

はじめに

教職課程を志すみなさんへ



教職担当教員

大森 拓哉

(経営情報学部 経営情報学科 教授)

皆さんが「教員になりたい」と思ったきっかけは何でしょうか？小学校のときの先生が優しくかったから、中学校のときの部活の先生が熱心に指導してくれたから、高校のときの進路指導の先生が親身になって相談を受けてくれたから、など人によって様々でしょう。「先生」に対するイメージはいろいろあっても、「先生になりたい」という思いを持つ人には、共通の目的や目標があるはず。「教えるのが好きだ」「子供が好きだ」「共に成長したい」「可能性を引き出したい」……。これらのどれかが欠けていたとしたら、教員の資質として不十分でしょう。さらには教育者としてのモラル、人生の先輩としての在り方、ともすると自身よりも年配の保護者に接する際に必要な十分な素養と態度など、教員に求められるものは特に高度な人間性であり、世間一般の人たちは教員というものはそういうものを身につけている（人がなった）はずだ、という認識を当然のように持っています。

ふりかえって皆さんはどうでしょうか。高度な人間性を持ち合わせているでしょうか。高いモラルをもって日々生活しているでしょうか。現時点で、できていなくてもかまいません。しかし、卒業し、教員免許を取得し、教員として社会に巣立っていく際には必ず持ち合わせていなくてはなりません。教員1年目から完璧であることは難しいかもしれませんが、しかし保護者や生徒たちは、教員1年目であろうがベテラン教員であろうが、「先生」は「先生」として接してきます。そこには初心者もベテランもありません。むしろ大学4年間で、それらを身につけなければならないのです。もし、今の時点で「私には無理そうだ」と思うのであれば、諦めたほうが良いでしょう。しかし、数々の課題や難題に対処しなくてはならないことを覚悟の上で教職を目指すというのであれば、我々は皆さんとともに教職課程を学んでいくことに努力を惜しみません。

教員という職業は素晴らしいものです。教育は万人が受けるものですから、様々なものを望む人、望まない人それぞれの成長にかかわることができる稀な職業です。その素晴らしさは、最終学年の時に教育実習で実感することができると思います。教えるための十分な学びと準備を徹底的に行うことによって、ようやく授業1コマが成り立ちます。その努力の上で、生徒に学びを伝え、共に成長することが実感できた時、教師としてこの上ない喜びを味わうことができることでしょう。

さあ、教職を目指す皆さん。単に教員免許を取得する、という目的だけではとても厳しい過程であると思います。しかし、「教員になる」というしっかりした目標をもっていれば、その厳しさはやりがいとなって皆さんのチカラとなって蓄えられるでしょう。「教師になること」「人に教えること」、その崇高な目標に向かって、一緒に学びましょう。



教職担当教員

齋藤 裕美

(経営情報学部 経営情報学科 教授)

教育学部ではなく、経営情報学部で学びながら高等学校教諭一種免許状(情報)を取得するための教職課程を履修するということがどのようなことなのか、考えてみましょう。

第一に、経営情報学部を卒業するにあたって必要な専門的な知識を究め、経験を積み、単位を修得することに加えて、教員免許状を取得するのに必要な知識を学び、経験を積み、必要な単位を修得する必要があります。つまり、皆さんは教職課程を履修しない学生に較べて多くの時間を勉強にあてる必要があります。その代わりに、教職課程を履修しない学生に較べて多角的な視点を得ることができると思います。その情報技術がこれからの子どもたちにとってどのような価値があるのか、どのような影響を与えうるのか、そのような視点から経営情報に関する学問を見ることができるようになるでしょう。

第二に、経営情報学部で専門的な知識を究め、経験を積んだ皆さんは、高校生に対して、「情報」の楽しさ、面白さ、あるいはその怖さを誰よりもよく伝えられる教師になるはずです。教育学部で学んだ教師と専門学部で学んだ教師との違いは、専門的な学問分野についてより深い知識と経験を獲得しているかどうかだと思います。つまり、専門学部である経営情報学部で学んだことが「情報」の教師としての皆さんの強みになるでしょう。

第三に、もし皆さんが教師という職業に就かなかったとしても、皆さんがいつか後輩や部下を指導する立場になった時、よりよく指導・支援できる先輩や上司になれると思います。「情報」についての学部で学んだ専門的な知識や能力に加え、教育的な視点を持った先輩や上司として、後輩や部下に指導・支援ができるのです。ただし、もし皆さんが「教職には就かないけれども教職課程を履修したい」と考えていたとしても、教職課程については真剣に履修して学んでほしいと思っています。なぜなら、教員免許状を取得するためには「教育実習」に行く必要がありますが、その時、皆さんは高校生に対しては本当の教師と同じように教壇に立ち、授業を受け持つからです。皆さんが受け持った高校生にとって、皆さんの授業がその内容について学ぶ生涯にただ一度だけの学習の機会になるかも知れません。真剣に、誠実に履修して下さい。

皆さんが教職課程の履修を通じてより充実した学生生活を送り、また、いつか素晴らしい教師になることを願っています。

多摩大学にて取得可能な免許状

学部	学科	種類	教科
経営情報学部	経営情報学科	高等学校教諭(一種)	情報 (数学)

★数学科教員免許取得について…明星大学通信教育部の科目等履修生にて高等学校教員免許状(数学)を取得可能です。条件として、多摩大学にて高等学校教諭(一種)情報の教員免許を取得することが必須となります。

基礎資格及び最低修得単位数(教育職員免許法で定められている最低単位数)

免許状の種類：高等学校教諭

資格取得：一種免許状

基礎資格：学士の学位を有すること

大学において修得することを必要とする科目の最低単位数				
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目	道徳、総合的な学習の時間の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育実践に関する科目
8	24	10	8	5

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

◎：必修科目

○：選択必修科目

免許法施行規則に定める科目及び単位数		左記に対応する開設授業科目
科目	単位数	科目
日本国憲法	2	◎法学(憲法)
※1)体育	2	○スポーツⅠ ○スポーツⅡ
※2)外国語コミュニケーション	2	○English ExpressionⅡ ○韓国語Ⅱ ○中国語Ⅱ
※3)情報機器の操作	2	◎IT活用法Ⅱ

※1)スポーツⅠまたはスポーツⅡより1科目選択必修

※2)English ExpressionⅡ、韓国語Ⅱ、中国語Ⅱの3科目より1科目選択必修

※3)2014年度入学生及び2015年度入学生は、「業界研究Ⅰ」を履修してください。「IT活用法Ⅱ」は基礎教育科目としてカウントされません。

2016年度以降入学生は、「IT活用法Ⅱ」を履修してください。「業界研究Ⅰ」は基礎教育科目としてカウントされません。

教職に関する科目

免許法施行規則に定める科目区分	本学で開講している科目名	配当年次・開講学期	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	○教育原理	1-秋	2
	○教職概論	1-秋	2
	○教育制度論	2-春	2
	○教育心理学	3-春	2
	○特別支援教育概論	2-集中(春学期)	1
	○教育課程総論	2-春	1
道徳、総合的な学習の時間の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	○特別活動・総合的な学習の時間の指導法	2-秋	2
	○教育方法	2-秋	2
	○生徒指導・進路指導論	2-秋	2
	○教育相談	3-秋	2
教育実践に関する科目	○教育実習	4-集中(春秋学期)	3
	○教職実践演習	4-集中(秋学期)	2
合 計			23

教科に関する科目

◎：必修科目(34 単位すべて履修してください)

○：選択必修科目(14 単位以上履修してください)

免許法施行規則に定める科目区分	2015年度開講科目	単位	2016年度開講科目	単位	2017年度開講科目	単位	2018年度開講科目	単位	配当年次	2019年度開講科目	単位	配当年次	2020年度開講科目	単位	配当年次
基礎教育科目 (66名の6に定める科目)	◎法学(憲法)	2	◎法学(憲法)	2	◎法学(憲法)	2	◎法学(憲法)	2	1-秋	◎法学(憲法)	2	1-秋	◎法学(憲法)	2	1-秋
	◎スポーツ I	2	◎スポーツ I	2	◎スポーツ I	2	◎スポーツ I	2	1-春	◎スポーツ I	2	1-春	◎スポーツ I	2	1-春
	◎English Expression II	2	◎English Expression II	2	◎English Expression II	2	◎English Expression II	2	1-秋	◎English Expression II	2	1-秋	◎English Expression II	2	1-秋
	◎韓国語 II	2	◎韓国語 II	2	◎韓国語 II	2	◎韓国語 II	2	1-秋	◎韓国語 II	2	1-秋	◎韓国語 II	2	1-秋
	◎中国語 II	2	◎中国語 II	2	◎中国語 II	2	◎中国語 II	2	1-秋	◎中国語 II	2	1-秋	◎中国語 II	2	1-秋
◎ビジネスコミュニケーション入門 I	2	◎ビジネスコミュニケーション入門 I	2	◎ビジネスコミュニケーション入門 I	2	◎ビジネスコミュニケーション入門 I	2	2-春	◎ビジネスコミュニケーション入門 I	2	2-春	◎ビジネスコミュニケーション入門 I	2	2-春	
◎IT 活用法 II	2	◎IT 活用法 II	2	◎IT 活用法 II	2	◎IT 活用法 II	2	2-春	◎IT 活用法 II	2	2-春	◎IT 活用法 II	2	2-春	
情報社会及び情報倫理	◎情報通信と社会	2	◎情報倫理	2	◎情報倫理	2	◎情報倫理	2	2-春	◎情報倫理	2	2-春	◎情報倫理	2	2-春
	◎データフィクション I	2	◎経営とセキュリティ	2	◎経営とセキュリティ	2	◎経営とセキュリティ	2	3-秋	◎経営とセキュリティ	2	3-秋	◎経営とセキュリティ	2	3-秋
	◎情報とセキュリティ	2	◎情報法	2	◎情報法	2	◎情報法	2	2-秋	◎情報法	2	2-秋	◎情報法	2	2-秋
	◎情報法	2	◎情報法	2	◎情報法	2	◎情報法	2	2-秋	◎情報法	2	2-秋	◎情報法	2	2-秋
コンピュータ及び情報処理 (実習を含む)	◎ビジネス数学基礎	2	◎ビジネス数学基礎	2	◎ビジネス数学基礎	2	◎ビジネス数学基礎	2	1-春	◎ビジネス数学基礎	2	1-春	◎ビジネス数学基礎	2	1-春
	◎Web サービス開発	2	◎Web サービス開発	2	◎Web サービス開発	2	◎Web サービス開発	2	3-秋	◎Web サービス開発	2	3-秋	◎Web サービス開発	2	3-秋
	◎デザインワークショップ I	2	◎Web プログラミング	2	◎Web プログラミング	2	◎Web プログラミング	2	3-春	◎Web プログラミング	2	3-春	◎Web プログラミング	2	3-春
	◎デザインワークショップ II	2	◎デザインワークショップ I	2	◎プログラミング入門 I	2	◎プログラミング入門 I	2	2-春	◎プログラミング入門 I	2	2-春	◎プログラミング入門 I	2	2-春
	◎コンピュータ概論	2	◎コンピュータ概論	2	◎コンピュータ概論	2	◎コンピュータ概論	2	1-秋	◎コンピュータ概論	2	1-秋	◎コンピュータ概論	2	1-秋
◎コンピュータサイエンス	2	◎コンピュータサイエンス	2	◎コンピュータサイエンス	2	◎コンピュータサイエンス	2	2-春	◎コンピュータサイエンス	2	2-春	◎コンピュータサイエンス	2	2-春	
情報システム (実習を含む)	◎データフィクション II	2	◎データベース II	2	◎データベース II	2	◎データベース II	2	2-秋	◎データベース II	2	2-秋	◎データベース II	2	2-秋
	◎システムデザイン	2	◎データベース I	2	◎データベース I	2	◎データベース I	2	2-春	◎データベース I	2	2-春	◎データベース I	2	2-春
	◎システム分析概論	2	◎データベース I	2	◎データベース I	2	◎データベース I	2	2-春	◎データベース I	2	2-春	◎データベース I	2	2-春
情報通信ネットワーク (実習を含む)	◎データフィクション I	2	◎IT デザイン II	2	◎情報工学概論	2	◎情報工学概論	2	3-秋	◎情報工学概論	2	3-秋	◎情報工学概論	2	3-秋
	◎コンピュータネットワーク活用	2	◎コンピュータネットワーク活用	2	◎コンピュータネットワーク活用	2	◎コンピュータネットワーク活用	2	3-春	◎コンピュータネットワーク活用	2	3-春	◎コンピュータネットワーク活用	2	3-春
	◎クリエイティブデザイン II	2	◎クリエイティブデザイン II	2	◎クリエイティブデザイン II	2	◎クリエイティブデザイン II	2	2-秋	◎クリエイティブデザイン II	2	2-秋	◎クリエイティブデザイン II	2	2-秋
マルチメディア表現 及び技術 (実習を含む)	◎IT デザイン I	2	◎IT デザイン I	2	◎情報ネットワーク	2	◎情報ネットワーク	2	3-春	◎情報ネットワーク	2	3-春	◎情報ネットワーク	2	3-春
	◎クリエイティブデザイン I	2	◎クリエイティブデザイン I	2	◎クリエイティブデザイン I	2	◎クリエイティブデザイン I	2	2-春	◎クリエイティブデザイン I	2	2-春	◎クリエイティブデザイン I	2	2-春
	◎Web デザイン I	2	◎Web デザイン I	2	◎Web デザイン I	2	◎Web デザイン I	2	2-春	◎Web デザイン I	2	2-春	◎Web デザイン I	2	2-春
	◎Web デザイン II	2	◎Web デザイン II	2	◎Web デザイン II	2	◎Web デザイン II	2	2-秋	◎Web デザイン II	2	2-秋	◎Web デザイン II	2	2-秋
情報と職業	◎問題解決メソッド I	2	◎問題解決メソッド II	2	◎問題解決メソッド III	2	◎問題解決メソッド III	2	2-秋	◎問題解決メソッド III	2	2-秋	◎問題解決メソッド III	2	2-秋
	◎経営情報論 I	2	◎経営情報論 I	2	◎経営情報論 I	2	◎経営情報論 I	2	2-春	◎経営情報論 I	2	2-春	◎経営情報論 I	2	2-春
各教科の指導法 (情報科のみの科目)	◎情報と職業	2	◎情報と職業	2	◎情報と職業	2	◎情報と職業	2	3-春	◎情報と職業	2	3-春	◎情報と職業	2	3-春
	◎情報科教育法 I	2	◎情報科教育法 I	2	◎情報科教育法 I	2	◎情報科教育法 I	2	3-春	◎情報科教育法 I	2	3-春	◎情報科教育法 I	2	3-春
	◎情報科教育法 II	2	◎情報科教育法 II	2	◎情報科教育法 II	2	◎情報科教育法 II	2	3-秋	◎情報科教育法 II	2	3-秋	◎情報科教育法 II	2	3-秋

※4) 2020 年度入学生は、「IT 活用法 II」を履修してください。「業界研究 I」は、2014・2015 年度入学生用の科目のため、教科に関する科目としてカウントされません。

★教科に関する科目のうち、「情報科教育法 I」及び「情報科教育法 II」は卒業要件単位及び進級要件単位に含みません。

★数学の「教科に関する科目」は、「教職課程履修希望者説明会」で配布します。説明会の日については、T-NEXT 及び学内掲示板にて、お知らせしますので、希望者は必ず出席してください。

教職課程の履修許可について

- ① 教職課程の履修要件は原則として、教員採用試験の受験を 1 年次で希望していること。
- ② 教職課程の履修が認められる者

○1 年次終了時

2 年次に進級する際に、原則として 1 年次中に取得した単位が 40 単位以上で、かつその成績の評定平均が 2.1 以上に達した者。

<評定平均の算出方法>

$$4.0 \times (\text{「A+」と「P」の修得単位数}) + 3.0 \times (\text{「A」の修得単位数}) + 2.0 \times (\text{「B」の修得単位数}) + 1.0 \times (\text{「C」の修得単位数})$$

総履修登録単位数(「F」の単位数を含む)

○2 年次終了時

- ・ 80 単位以上（教職に関する科目は除く）修得していること。

○3 年次終了時

- ・ 110 単位以上（教職に関する科目は除く）修得していること。
- ・ 原則として、教職に関する科目の必修科目（教育実習と教職実践演習は除く）をすべて修得していること。
- ・ 原則として、必修科目 34 単位すべてと、選択必修科目の内、14 単位以上修得していること。

- ③「教育実習」3 単位のうち、1 単位は「事前・事後指導」とし、これに出席しなければ教育実習の単位は認定されない。

ボランティアについて

学校・地域子ども達と触れあうボランティア事業に参加することによって「教育実習」とは別に体験しながら学んでいくことを目的としています。教職をめざす皆さんにとっては、キャンパス内の授業で得た知識・技能を確認・実践できる機会です。必須ではありませんが、以下のボランティア活動にできるだけ参加するようにしてください。また参加する場合は、担当の先生に事前に相談して下さい。

(1) 多摩市立諏訪小学校 学習支援等ボランティア

活動場所：多摩市立諏訪小学校

連絡先：梅澤 佳子教授

活動内容：梅澤佳子ゼミは、多摩市教育委員会と連携して ESD（持続可能な開発のための教育）多摩地区コンソーシアムの参加団体として、「大学生による多摩を未来につなぐ地域活動」に取り組んでいます。

1. 全学総合的学習の時間農園活動支援
(農はじめ、雑草取り、畝づくり等農作業、学外野菜バザー運営等)
2. 体力テスト補助
3. 運動会準備・当日の運営補助
4. プール清掃
5. 夏休み国語算数教室指導

(2) 多摩市ひじり館 イベントボランティア

活動場所：多摩市ひじり館

連絡先：梅澤 佳子教授

活動内容：1. ひじり館子ども夏祭りの運営手伝い
2. ひじり館祭りの運営手伝い

(3) 多摩市立諏訪小学校 安全管理ボランティア

活動場所：多摩市立諏訪小学校

連絡先：石川 晴子准教授

活動曜日：毎週金曜日 15:00 から 17:00

- 活動内容：安全管理員（小学生の遊びの指導及び見守り）
- (4) 多摩市立聖ヶ丘中学校 学習支援ボランティア
- 活動場所：多摩市立聖ヶ丘中学校
- 連絡先：大森 拓哉教授
- 活動日時：水曜日 14:30～16:00（年 10 回程度）
- 活動内容：放課後学習会の指導補助

教育実習について

① 教育実習の目的

教育実習は、学校教育の実状や教員の実務を理解し、これまで大学で身につけた知識や理論を基に実習校において教育職員として必要な現場の知識や技術、態度等を見につけるための実地修練の場です。

② 教育実習の実施時期

教育実習の実施時期は4年次の4～6月を原則としますが、実習校(基本的に母校実習)の都合により、他の時期に行うこともあります。

③ 教育実習事前事後指導

4年次の教育実習履修有資格者を対象に、教育実習事前説明会を実施し、教育実習申込書、教育実習日誌等を配布します。

④ 教育実習手数料

教育実習手数料は、教育実習申込みの際に教務課にて納入してください。

→ 教育実習手数料 20,000円

⑤ 実習校との事前打ち合わせ

教育実習開始前に、教育実習についての打ち合わせが実習校で行われます。実習に際しての指導を受けたり、実習生の準備状況の報告を行ったりするもので、実習に欠かせない重要なものです。必ず出席してください。日時は、実習校の教員と調整をして決定します。(2年終了頃～3年次)

⑥ 教育実習報告会

7月に教育実習報告会を開催します。教育実習を終えた4年生は、下級生向けに教育実習での成果を発表してもらいます。

教職課程履修カルテ（教職カルテ）について

① 教職カルテの目的

「教職カルテ」の作成を通じて、当該学期に学習した内容を振り返り、各自が学んだことは何か、学び足りなかったことは何か、さらに研究を進めたいことは何かなどを改めて考えさせる機会の提供を目的としています。更に、教職課程の履修を通じて、「教員として最小限必要な知識技能を確実に身に付けさせるとともに、その知識技能を明示的に確認することを目的とする」ものです。4年生の秋学期に履修する「教職実践演習」の授業内で総括を行います。

② 作成及び提出について

教職カルテのデータを担当教員から履修者へ送りますので、適宜更新・提出してください。

教員免許状の申請について

大学から東京都教育庁へ教員免許状の一括申請を行います。

教員免許状申請料は、案内が教務課から届きますので、それに従って所定の料金を教務課窓口に納入してください。(4年次1月~2月頃)

→ 教員免許状申請料 3,700円

(注 意)

- ◎ この『教職課程ハンドブック』は、在学期間中使用するので、大切に保管してください。
- ◎ 開講科目及び内容などについては、変更した場合は、T-NEXTにて配信します。
- ◎ 「教職に関する科目」は、1年生秋学期より履修可能となります。
- ◎ 何か不明な点がありましたら教務課窓口まで来てください。

多摩大学
多摩キャンパス 教務課